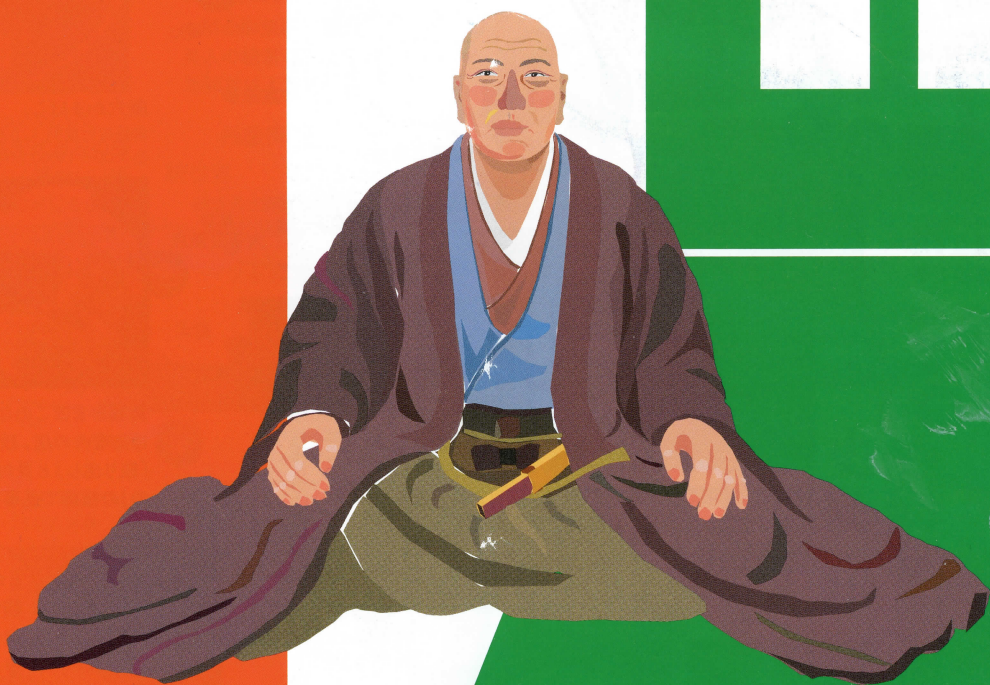


まいづる
旅物語

幽斎の田辺城と 城下町

無舞 雀鳥



史跡 田辺城跡 & 周辺ガイド

歴史絵巻はさらなるステージへ。

『史跡 田辺城跡』から足を伸ばし、周辺スポットを訪ねてみてください。
旧海軍ゆかりの近代化遺産や戦後の引き揚げのストーリー、
自然体験、絶景、プラネタリウム……多彩な楽しみが待っています。



海の京都

舞鶴引揚記念館

引き揚げの歴史を今に伝える

「岸壁の母」の歌とともに引き揚げの町として知られる舞鶴は、旧ソ連や中国など大陸から多くの引揚者を迎え入れました。ユネスコ世界記憶遺産に登録された引き揚げに関する貴重な資料を展示しています。

舞鶴市平1584 ☎0773・68・0836 9:00～17:00(入館は16:30) 12/29～1/1・毎月第3木曜(8月と祝日のそく) 大人300円、学生150円 ◎赤れんが博物館との共通券あり



舞鶴ふるるFARM

家族みんなで楽しむ農業公園

農村レストランやお菓子工房、農産物直売所、家族で泊まれるコテージがある農業公園。「農村レストランふるる」では、地元の新鮮食材を使ったバイキング料理が人気。フルーツ大福や石窯クッキーなど食の体験も楽しむことができます。

舞鶴市瀬崎60 ☎0773・68・0233 9:00～17:00 火(祝の場合は翌日) 入園無料



舞鶴ふるるFARM

舞鶴親海公園&エル・マールまいづる

舞鶴引揚記念館

舞鶴赤れんがパーク&赤れんが博物館

五老スカイタワー

舞鶴親海公園&エル・マールまいづる

のんびりゆったり海辺を満喫

船の姿をしたPR館「エル・マールまいづる」のプラネタリウムやレストラン「M's deli」では名物黒ハヤシや近海の海の幸を使ったイタリアンが人気。海釣り護岸や親水池もあり家族で楽しむことができます。

舞鶴市千歳地内 エル・マールまいづる ☎0773・68・1090 9:30～17:30 火水(祝の場合は翌営業日) レストラン「M's deli」 ☎0773・68・1663 11:00～18:00(季節によって変動あり) 火水 入園無料 ◎プラネタリウムは有料



重要文化財の赤れんが倉庫群

旧海軍が明治期に建造した赤れんが倉庫が立ち並び、れんがをテーマにした博物館のほか、多目的ホールやカフェ、工房などに転用され、多くの人がびとで賑わっています。今なお威容を誇る倉庫群は、懐かしくも遅く、訪れる人を惹きつけてやみません。

舞鶴市北吸1039-2 ☎0773・66・1096 9:00～17:00(夜間利用がある場合は～22:00) 12/29～1/1 無料 ◎赤れんが博物館は有料:大人300円、学生150円 引揚記念館との共通券あり



五老スカイタワー

空からの舞鶴絶景パノラマビュー

標高301mの五老ヶ岳の頂上にそびえる高さ50mのタワー。展望室からは舞鶴湾と舞鶴市内が一望できます。「近畿百景第一位」に選ばれた絶景を楽しめます。

舞鶴市上安237 ☎0773・66・2582 4～11月:平日9:00～19:00土日祝9:00～21:00(12～3月)9:00～17:00(入館はいずれも閉館30分前まで) 無休 大人200円、小・中学生100円



ACCESS

車

京都から 京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道で約100km
大阪から 中国自動車道、舞鶴若狭自動車道で約130km
名古屋から 名神高速、北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道で約190km

鉄道

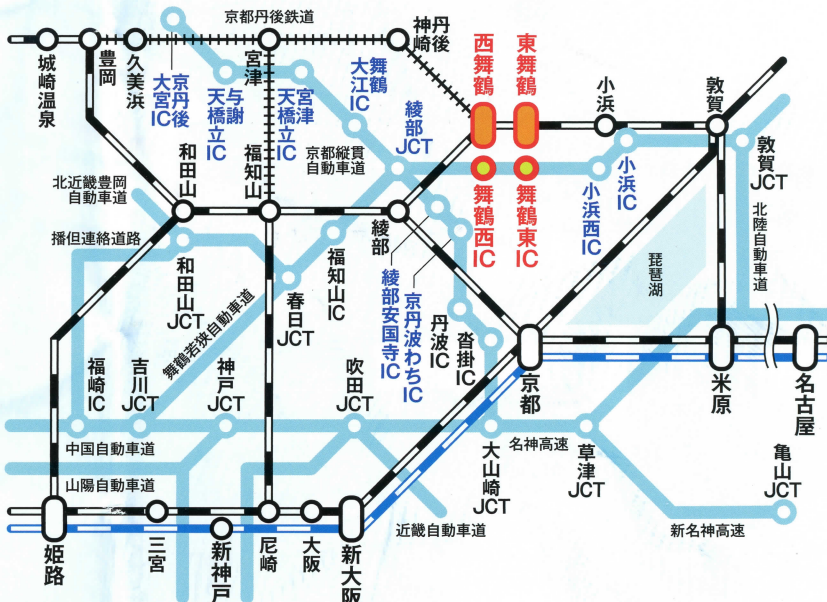
京都から 山陰本線、舞鶴線で約1時間40分(特急)
大阪から 京都経由で約2時間20分
敦賀から 小浜線で約2時間

高速バス

京都から 直通で約1時間50分
大阪(梅田)から 直通で約2時間10分
大阪(なんば)から 直通で約2時間10分
神戸(三宮)から 直通で約2時間
東京(品川)から 直通で約9時間30分

フェリー

※2017年5月31日より出航時刻が23時50分に変更になります。
小樽行 所要時間約20時間 毎日 0時30分発(運休日要確認)



まいづる観光ネット
MAIZURU-KANKO.NET



http://www.maizuru-kanko.net 舞鶴観光 で検索

●舞鶴の観光についてのお問い合わせは

まいづる観光ステーション
舞鶴市観光商業課

でんわ 0773・75・8600 〒624-0816 舞鶴市伊佐津213-8
でんわ 0773・66・1024 〒625-8555 舞鶴市北吸1044

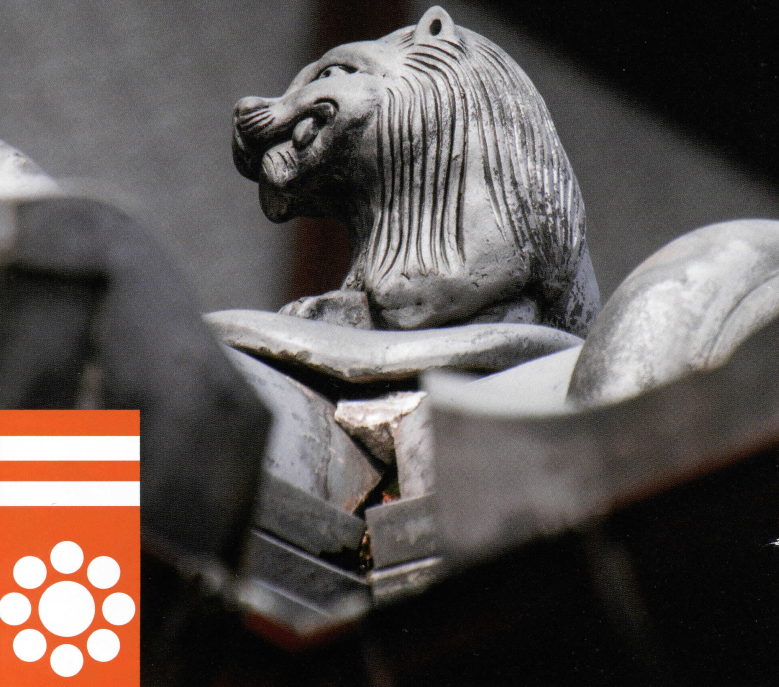
●史跡田辺城跡・資料展示のお問い合わせは

舞鶴公園 田辺城資料館

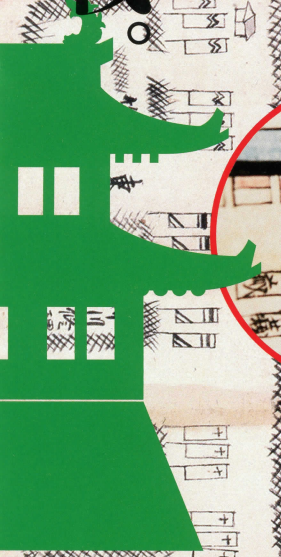
でんわ 0773・76・7211 〒624-0853 舞鶴市南田辺15-22

西国随一の御隠居 幽斎が創った城下町。

幽斎が隠居城として築いた田辺城とその城下町は実に愉快で豪快です。戦国の世の終焉を予見して山城ではなく平城を計画、川の流れを大きく変える大工事「瀬替え」を行い土地を確保し、城には家臣を住まわせ、城下には職人や商人を集めて活気ある町を作りました。掘割を廻らし、上水道を引き、港を整備して貿易を重んじた先進の町には、幽斎ゆかりの文化人も多く訪れ、能楽、和歌、茶の湯をはじめとする桃山文化が花開きました。



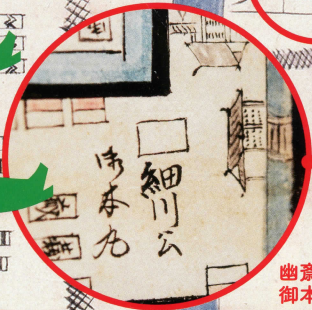
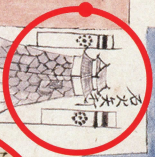
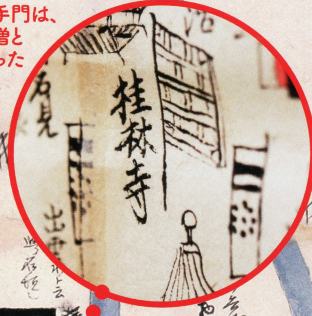
天下を変えた、 智将・幽斎の籠城戦。



石火矢打(大砲台)の
両側に描かれている旗は、
二引両紋と九曜紋で
ともに細川家の家紋

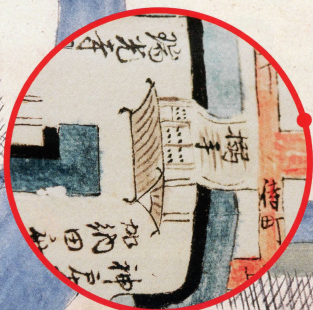


正面の大手門は、
桂林寺の僧と
弟子が守った

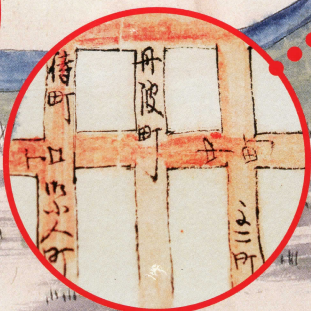


幽斎が居た
御本丸

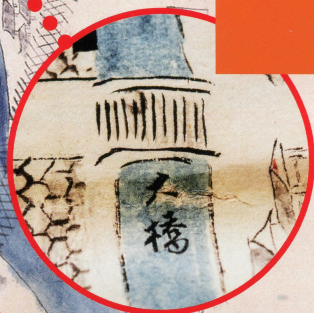
裏門にあたる
搦手門は、瑞光寺の
僧と門徒が守った



現在も残る「丹波町」
などの地名



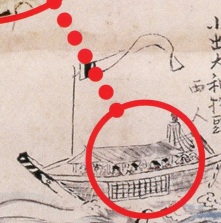
天守台



田辺大橋



沖に配置された
敵の番船(見張り船)



領内の家臣とその家族が間一髪で田辺城に集結。近隣の郷士、寺の僧侶、百姓、町人らも幽斎の元に駆けつけ、さらに弓師、矢師などの職人を徴用し、城内には五百の兵。一方、田辺城をぐるりと囲む敵方は、その三〜四十倍にもおよぶ、二万五千〜二万余の大軍。『絶体絶命』の籠城戦は、暑い真夏の五十二日間にわたり繰り広げられ、誰一人予測し得なかった結末を迎えます。天下分け目の『関ヶ原の戦い』は、そのわずか三日後の出来事でした。



しょうき 鍾馗さんを探せ!

寺町あたりを歩いていると町家の屋根に、かわいい魔除けの鍾馗さんが。さあ、上を向いて歩こう!

桂林寺

田辺籠城戦では大溪和尚が弟子を引き連れ城内に入り大手門の防備に加わった。その功績に対し、仏涅槃図や梵鐘が贈られた。総門、仁王門、鐘楼門と三門があるのは珍しい。山門の前にはにんにくと酒禁止の碑がある。

本行寺

天然記念物のモリアオガエルが生息し、産卵期には綿飴のような卵を産む。往時の花街の中央に位置するため、境内の灯籠には「遊郭中」の文字が。

高野川の山沿いに並ぶ 古社古刹巡り

緑と風の スピリチュアルウォーク

高野川と愛宕山に挟まれた一角は、かつて武家や豪商らが愛した花街の名残。町家は建て変わりましたが当時の風情、面影はなくなりつつありますが、それとは対照に、山の斜面に町を見守るように並んで建つ古社寺には、奈良、平安、鎌倉、室町からの佇まいを今も境内に残すところも。新緑、蟬時雨、紅葉、雪化粧……現代人の心が洗われる癒しの散歩道へ。



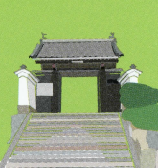
円隆寺

奈良時代創建。幽斎が能楽を行ったほか田辺藩からも庇護され、広大な境内には七十余の塔頭が軒を連ねる大寺だったが山崩れや大火で多くを失う。再建の際は、町民が寄付を出し合い、林田姓の大工のグループがダイナミックな外観に仕上げる。定朝作の木造阿弥陀や薬師釈迦如来坐像など重要文化財はじめ指定文化財も多い。



朝代神社

淡路島に鎮座していた日ノ少宮の分霊を勧請したのが始まりとされる。江戸時代に産土神として藩主から庇護されたことで丹後国十一社に。祭礼行列の『吉原太刀振』は、田辺籠城戦を模したと伝えられ、無形民俗文化財に指定されている。



本行寺



円隆寺

朝代神社

神社によって鳥居のかたちはさまざま。直線で貫が貫通しない『神明鳥居』は伊勢神宮がルーツといわれます。一方、笠木の下に島木があって貫を貫通させる『明神鳥居』は明治神宮や春日大社などがその代表。古社を巡ったら、まず鳥居を要チェック!

京橋

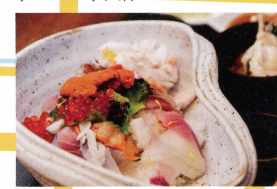
一づる食堂

舞鶴市引土16 ☎0773-75-2205
◎10:30~14:00 17:00~20:30 (LO20:15) 日祝休



舞鶴魚料理 魚源(トトゲン)

舞鶴市引土263-18 ☎0773-77-5534
◎11:00~14:00 17:00~23:00 (LO22:00) 火休



お隣の鮮魚店と同じ魚市場の仲買人の経営なので鮮度は保証。海鮮丼は人気の一品。

真名井、平野屋、 本町、丹波、竹屋町

路地裏探訪も楽しい エキゾチックストリート

古からの漁港に加え、幽斎によって商港としても整備された舞鶴西港。北前船が寄港し、廻船問屋と倉庫が軒を並べた町並みは時を経て変化しましたが、関西圏唯一の日本海側の玄関口として広く世界と繋がっています。京の都人の胃袋を満たしてきた舞鶴のさかなも、ますますパワフルです。町家、銭湯、ロシアチック、急べさん……古今東西のレトロが交差するエキゾチックストリートで、あなただけの探検をしてください。

舞鶴魚料理 魚源

舞鶴市引土263-18 ☎0773-77-5534
◎11:00~14:00 17:00~23:00 (LO22:00) 火休

京舞鶴 池屋

舞鶴市引土298-3 ☎0773-75-2315
◎17:30~23:00 日休(祝除く)

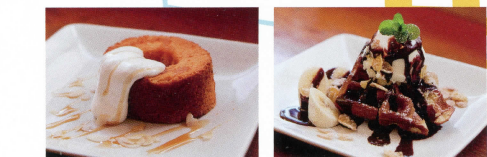
27 醤油ベースのあっさりとした「一づるラーメン」は先代からの味を受け継いで優しく懐かしい味わい。お酒のあとのメにもよし。

ブラザホテル舞鶴

まいづる観光ステーション
舞鶴市伊佐津213-8 ☎0773-75-8600
◎9:30~18:30 年末年始休

至 綾部

フォレスト
舞鶴市引土17-3 ☎0773-75-3187
◎7:30~17:00 (土日祝9:00~21:00) 水休



平日は朝7:30にオープンする西舞鶴駅前のカフェ。人気の洋食ランチメニューのほか、手作りスイーツも旅の疲れを癒してくれる。

丹後街道

新世界

幽斎名水庭園(真名井の清水・水汲み場)

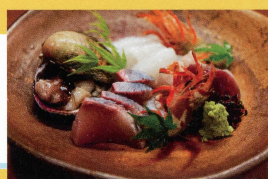
一づる食堂

舞鶴グランドホテル

●一天張

至 京都 天橋立

加寿美



舞鶴の旬の山海の恵みが美味しくいただける。特に毎朝舞鶴港で仕入れる魚料理が旨い。器も見事。

西舞鶴駅周辺と 史跡・田辺城跡

伝説と自然と 戦国ロマンの城下町

まちなかを流れる何本もの水路は幽斎の引いた背割り下水路と「御水道」と呼ばれる上水路。御水道は上流の湧水池から千八百メートルの水路を引き、城内のみならず城下にも配水されました。源泉は平成の名水百選にも選ばれた「真名井の清水」。そのいわれは奈良時代の「丹後風土記」まで遡ります。ガラシャと幽斎で知られるこの町には、まだまだ不思議がいっぱいいます。

白鳥街道



うのもり神社



本丸

舞鶴公園 田辺城跡

心種園



海舞鶴線



至 東舞鶴

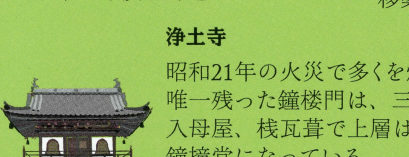


妙法寺
幽齋が立ち寄った際、日賢上人が即興で詠んだ歌と頓知問答に感心し、一万坪の寺領を寄進した。

松林寺
平安時代の創建。本堂は西舞鶴最古のものとされる。

浄土寺
昭和21年の火災で多くを焼失。唯一残った鐘楼門は、三間一戸、入母屋、棧瓦葺で上層は鐘撞堂になっている。

桂林寺
舞鶴市堀上68 ☎0773-75-0550
◎9:00～18:00 日祝休



大阪屋こうじ店
舞鶴市堀上68 ☎0773-75-0550
◎9:00～18:00 日祝休

笑原神社
金刀比羅神社



三百年続く秘伝の製法で作られた味噌、うろみは米麹が醸し出す本物の旨み。自家製甘酒アイスクリームは隠れた傑作。



農人橋

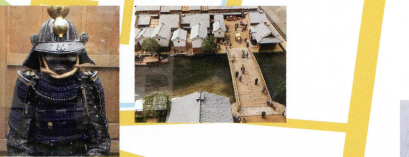
双鶴庵
舞鶴市北田辺127 ☎0773-75-0122
◎9:00～18:00 (日祝～17:00) 火休



銘菓「鶴の里」は丹頂鶴に見立てた羊羹を薄く伸ばした羽二重餅で巻いた手作りの逸品。

舞鶴西総合会館
(舞鶴ふるさと発見館)

田辺城資料館
舞鶴市南田辺15-22
☎0773-76-7211 ◎9:00～17:00 月休
(祝の場合は翌々日及び祝日の翌日休)



細川幽齋をはじめとする歴代城主や城下町・田辺の歴史を紹介。併設の彰古館では糸井文庫の錦絵資料を展示。

愛宕山

見樹寺
細川氏後の田辺城主、京極氏、牧野氏の菩提寺。境内は愛宕山北支城として築かれ高い石垣と堀が配されていた。馬の歩幅に合わせて作られた広い石段が特徴的。



見海寺
豊漁と海上安全を祈願して恵比寿大神を祀る恵比寿堂が作られた。山門は田辺城の門を移築したといわれる。

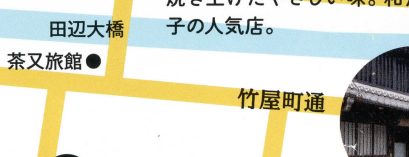


うな鶴
舞鶴市西41 (妙法寺前) ☎0773-60-1959
◎11:30～LO21:00 (11～5月は要問合せ) 不定休
浜名湖産鰻を蒸して焼いて秘伝のタレで焼き上げた鰻重。店主セレクトの鰻に合うお酒で肝焼や骨煎餅をつまみに。



新町

瑞光寺
舞鶴市新81 ☎0773-75-2721
◎9:00～19:00 水休
舞鶴ことばに因んだ「ちゃった」饅頭は、きな粉生地を漉し餡で焼き上げたやさしい味。和洋菓子の人気店。



竹屋町通

渡邊家

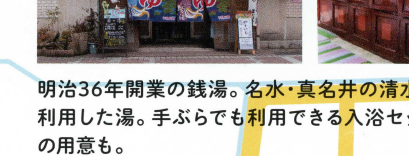
藤六かまぼこ
舞鶴市竹屋51 ☎0773-75-0994
◎9:00～19:00 日休



若の湯
舞鶴市本町58 ☎0773-75-2541
◎16:00～21:30 日水休(要問い合わせ)

丹波町通

喫茶若



明治36年開業の銭湯。名水・真名井の清水を利用した湯。手ぶらでも利用できる入浴セットの用意も。

職人町

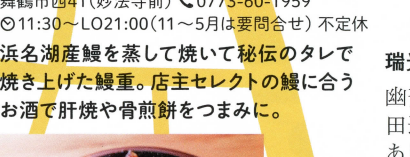
三ノ丸



道の駅 舞鶴港とれとれセンター
舞鶴市下福井905 ☎0773-75-6125
◎9:00～18:00 水休(7/22～8/12は無休)
岩がきをはじめ舞鶴港の新鮮な海の幸が購入できる「海鮮市場」。市場に並ぶ鮮魚をその場で刺身、海鮮焼でいただけます。



瑞光寺
幽齋が明誓を招いて創建。田辺籠城戦に加わり大きな戦功をあげ広大な寺領を寄進された。正面の山門は田辺城の黒金門を移築したと伝えられる。



漁師小屋
舞鶴市本56 ☎090-9285-5422
◎17:30～翌1:00 (LO24:00) 土日祝・大型連休のみ昼の営業 (◎11:00～15:30 (LO)) あり 火休



新鮮な魚介が手頃な値段で食べられるので連日賑わう。人気の「のどろ」は塩焼きでも煮付けでもお好みでどうぞ。



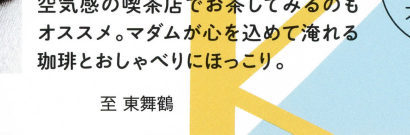
双鶴庵
舞鶴市北田辺127 ☎0773-75-0122
◎9:00～18:00 (日祝～17:00) 火休

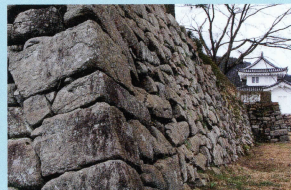


若の湯
舞鶴市本町58 ☎0773-75-2541
◎16:00～21:30 日水休(要問い合わせ)

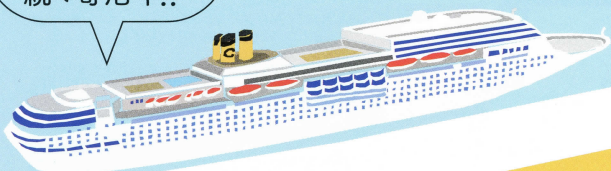


とかく有識で語られる幽齋ですが、頓知の名人、怪力の持ち主など、意外な素顔も盛りだくさん！愛妻家で知られ生涯側室を一人も置かなかったため、田辺城には大奥がありませんでした。





2017(平成29)年
クルーズ客船
続々寄港中!!



第二ふ頭・クルーズ客船乗り場

『万願寺甘とう』発祥の地



京のブランド野菜『万願寺甘とう』は、田辺城の南方、万願寺地区が発祥。大型肉厚で柔らかく、甘味があってとても美味しいとうがらします。シンプルに素焼きして鯉節と醤油で食するのが定番ですが、煮てよし、焼いてよし、揚げてよしの万能野菜です。

特産・舞鶴がまぼこの手作り体験と味比べから、漁師の町・東西吉原のダイブな町並みと、フォトジェニックな入江……。潮の香りと海風が心地よい港町で、のんびり羽をのばしましょう。

周辺の魚付林から流れ込む豊富なミネラルでおいしく育った舞鶴湾と若狭湾の新鮮な魚介が集まる舞鶴魚市場。その魚市場の鮮魚仲買人らが出店する「舞鶴港とれとれセンター」。

元舟屋も残る入江は
ダイブな原風景

魚市場と蒲鉾の町、
魚屋と吉原

魚屋町

●アメイロピストロアルル

吉原

日の出湯

舞鶴市東吉原297 ☎0773-75-0366
◎16:30~20:30 土休

☪ 日の出湯

●京都府漁業協同組合
舞鶴地方卸売市場

舞鶴がまぼこ
手作り体験工房

伊佐津川

水無月神社



舞鶴の地酒“池雲”

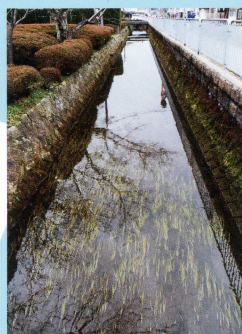
明治12年創業の池田酒造は舞鶴唯一の造り酒屋。魚の美味しい舞鶴だからこそ酒と魚の相性にこだわり両者を高め合う酒造りを目指しています。

池田酒造
舞鶴市中山32 ☎0773-82-0005
◎10:00~18:00 不定休

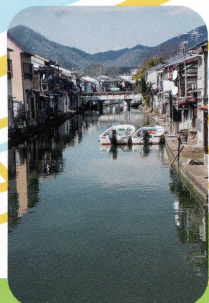
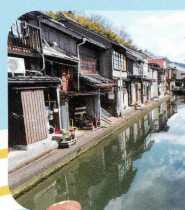
湧水を利用した日本最古の上水道「御水道」も幽斎の時代に作られました。籠城戦のさなか、敵軍の侍が水路を壊そうとしたのを、地元の百姓たちが取り囲んで討ち取り御水道を守ったという記録があります。

城跡には幽斎が築いた石垣が現存します。石積み技法や土台木の存在から天守台の遺構とされる石垣は、当時水堀が廻らされていたことも証明しています。

城下の高野川河口に港を作ったのも幽斎。高野川を水路として沿岸に荷揚げ場や波止場を置き、城内にも船着場と船着御門を設けました。先進の計画で整備された城下町に保津峡から町代官をヘッドハンティング、有望な近江商人を誘致し興隆を後押し、さらに北陸から紙漉職人、鋳物師、船頭、水夫などを招き、彼らの菩提を弔うために瑞光寺を創建、住職を若狭から招聘し養子にしました。海との繋がり的重要性、そして「まちづくり」の要を幽斎は誰よりも理解していたのです。



歴史探訪・ 天下泰平の立役者、 舞鶴西エリ



幽斎のこと。

母方は清少納言ゆかりの公家、父方は室町將軍の直臣の武家という、超エリートの名門に生まれた幽斎は、幼少期より文武両道の英才教育を受け、兵法や弓馬鎗剣など武芸百般に通じた武勇の将であると同時に、和歌、蹴鞠、囲碁、包丁、太鼓、能楽、狂歌、茶湯、音曲、手跡、乱舞、刀剣鑑定などの多芸に秀でた当代屈指のスーパーマルチな文化人として、戦国時代を生きました。

足利義昭、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康という四代の君主すべてに仕え、政策ブレーンとして、また、文化的な顧問として政権と関わりをもちます。



和歌の秘伝『古今伝授』を継承したことで知られ、このため田辺籠城戦では、武家の戦いに滅多に介入しない朝廷から講和の勅令を引き出して敵陣の

包囲が解かれ、奇跡の無血開城に導かれます。

関ヶ原の戦いの後、家康からの要請で幽斎がまとめた『室町家式』は、武家の伝統・儀式、作法を記した一大マニュアル。徳川政権の誕生に際し中世の武家の儀礼を江戸幕府に継承させ、スムーズに政治を主導させる橋渡しをしました。戦乱の世が終り、この後二百六十年続く江戸時代の天下泰平を、幽斎は何年も前に予見していたのかも知れません。



城下町のこと。

幽斎が田辺城で過ごしたのは、築城から籠城戦までのわずか二十年余。その後の四百年で町は大きく成長し繁栄していきますが、驚くことに旧城下の地割、道筋、背割り、下水路、溝などは、幽斎の時代に整備されたまま現在ま



利益・グルメ・原風景……

細川幽斎が描いた町並みを歩く

アてくてくマップ



南東にある西吉原と、北西にある東吉原のミステリアス！
その昔、大火のために町ごとこの入江に移転した際、それまでの町名をそれぞれ引き継いだためです。
吉原の漁師は田辺籠城戦のとき、夜こっそりと米を運び入れて助けたと言い伝えられています。
「太刀振」「万灯笼」はこの地に伝わる伝統行事。



おいすたあ
舞鶴かき小屋 美味星

句崎公園

蒲鉾のまち舞鶴

舞鶴かまぼこは、近海で穫れた新鮮な生魚を朝一番で“生すり身”に加工し、その日のうちに製造する保存料無添加の蒲鉾です。
季節により生魚を使い分け、独自の二段階の蒸し上げを施すなど、伝統の製法を守る職人の技とこだわりが、魚本来の旨みを引き出し、ソフトでありながらシコシコとした弾力ある歯応えに仕上がっています。
お店ごとの個性や味の違いもぜひ食べ比べてみてください。



高作商店
舞鶴市魚屋98
☎0773-75-0306

嶋岩
舞鶴市上安久651
☎0773-75-0776

嶋七
舞鶴市北田辺118-21
☎0773-76-3203

藤六かまぼこ
舞鶴市竹屋51 ☎0773-75-0994
☎9:00~19:00 日休

舞鶴かき小屋 美味星(おいすたあ)

舞鶴市下安久552-6(京都府漁協舞鶴支所横)
☎080-6166-1158 ☎11:00~17:00 6/10~9/10の土日祝営業
夏季限定のお楽しみ。舞鶴の岩がき、丹後とり貝、黒あわび、さざえをバーベキューで豪快に食べよう。
もちろん岩がきは生でもいただけます。



舞鶴かまぼこ手作り体験工房

舞鶴市下安久1013-11
☎14:30~16:00 要予約(予約☎0773-77-5400)
かまぼこ作りを体験できる工房。かまぼこ、焼きちくわ、平てんなど、自分で作った作り立ての舞鶴かまぼこはまた格別。



至 中舞鶴

